

令和3年度第2期子ども・子育て支援事業計画進捗等管理票における
子ども・子育て会議委員からの意見等に対する回答について

1 要望

ページ	全体
該当箇所	全体
意見等	「達成度」が分かりづらいので、シートを修正する等、分かりやすい表現にしてください。
回答	「達成度」については、ページの下にそれぞれA～Eの評価基準を示していますが、分かりやすい表現にできるように検討します。
回答部署	子育て応援課 子育て支援係

2 意見等

(1) 【表紙黄色】量の見込みと確保方策（計画の基本的事項）

ページ	2
該当箇所	1 幼児期の教育・保育 (2) 2号認定
意見等	R3. 7月、むさしの保育園の定員が22名も減少したのは、何か理由がありますか？
回答	待機児童対策として2歳児までの定員を増やししながら、定員割れ対策として4歳以上の定員を減らし、実態に合った定員変更をしました。
回答部署	子育て応援課 保育・幼稚園係

ページ	3
該当箇所	1 幼児期の教育・保育 (3) 3号認定（0歳児、1・2歳児）
意見等	R3. 4月、待機児童0人は、素晴らしいと思います。
回答	ありがとうございます。各保育園に弾力的な受入れに協力いただき、達成できています。待機児童0人の継続に向けた取組を実施します。
回答部署	子育て応援課 保育・幼稚園係

ページ	4
該当箇所	2 地域子ども・子育て支援事業 (1) 利用者支援事業
意見等	母子保健型と基本型の違いは、何ですか？（※などで、補足の説明などがあると大変助かります。）
回答	利用者支援事業は、「母子保健型」「基本型」「特定型」の3つの事業類型があります。 町が採用した「母子保健型」ですが、主に市区町村の保健センターなど

	<p>で提供されるサービスです。保健師などの専門職が担当し、妊娠期から子育て期まで母子の保健や育児に関する様々な相談に応じます。状況を継続的に把握できるため、適切な情報提供と母子保健サービスなどの紹介が可能です。同時に関係機関と協力し、支援プランの策定を行うことも重要な業務となります。職員配置は前述のとおり、保健師や助産師など、母子保健に関して専門知識を持つ資格者を1名以上配置する必要があります。</p> <p>「基本型」は、子育て家庭支援を全般的に機能強化するもので、「利用者支援」と「地域連携」という2つの柱で構成されています。「利用者支援」は、地域子育て支援拠点などで実施するもので、子育て家庭からの相談により個別のニーズ把握、子育て支援に関する情報の収集・提供、子育て支援事業や保育所などの利用に対する助言・支援など、当事者の目線に立った寄り添い型の支援となります。</p> <p>また、「地域連携」は協働体制の構築がメインとなり、効果的な支援につながるよう地域の関係機関と連絡調整を行う業務です。地域に展開している関連資源を育成、社会資源を開発等、子育て支援のネットワークに基づいた支援を行います。基本型の職員配置は、専任職員1名以上の配置が義務付けられています。子ども・子育て支援に関する事業や地域の子育て支援事業などで一定の実務経験を持つ者が、子育て支援員基本研修及び専門研修を修了した場合などに就任することが可能です。</p>
回答部署	健康課 保健係
回 答	<p>「特化型」は、保育コンサルジュとも言われるサービスです。主に区市町村の窓口で相談に応じる形で、地域において提供される保育所や各種保育サービスの情報提供を行い、利用に向けて支援するのがメインの業務です。</p>
回答部署	保育・幼稚園係

ページ	5
該当箇所	2 地域子ども・子育て支援事業 (2) 延長保育事業
意見等	保育料減免対象世帯への適正対応の追求について、希望される方が多く、十分に対応できない状況なのではないでしょうか？
回 答	現状では、適正に対応しています。利用申請から利用までに時間がないことから、迅速な対応が求められる事務であるため、適正執行の追及を課題としています。希望される方が多く対応できない状況ではないです。
回答部署	子育て応援課 保育・幼稚園係

ページ	10
該当箇所	2 地域子ども・子育て支援事業 (7) 地域子育て支援拠点事業（子育てひろば等）
意見等	子育て広場の評価が、コロナ対策で、人数制限などで、利用者減少でD評価でした。近隣の羽村、青梅は、コロナ予防で長期にわたり、利用できない状況と聞き、他市から瑞穂の施設利用の方がいらっしゃるようで

	した。予防対策とりながらも、外に出れる場の開放をできたことは、大変良かったと思います。なので、D評価でなくても、Cか、Bでもいいのではないかと思います。
回 答	保育園等の子育てひろば事業は、コロナ禍以前と比較しますと、実施回数・利用者数が減少傾向にあります。 利用数は、前年度と比較してほぼ同等となっており、各園で zoom による開催、参加人数制限等、工夫を凝らし実施しています。
回答部署	子育て応援課 保育・幼稚園係
回 答	児童館でも令和3年度においては緊急事態宣言下でも閉館せず、乳幼児やその保護者の支援に努めました。達成度がDであることについては、「利用希望者数」が9,958人であるのに対し「実利用者数」が9月末時点で2,074人であり現時点では大幅に目標を達成できていないためです。 今後、今まで同様に新型コロナウイルスの予防対策を実施しながら、希望される方が事業に参加できるよう努めていきます。
回答部署	子育て応援課 児童館係
回 答	子ども家庭支援センターは「C」で回答させていただきました。
回答部署	子育て応援課 子ども家庭支援センター係

(2)【表紙桃色】計画の体系

ページ	1
該当箇所	基本目標1 すべての子育て家庭の支援 (1) 地域の子育て家庭の支援 ①総合的な子育て支援サービスの展開 3 子育て支援情報の提供
意見等	ホームページリニューアル後、CMS運用について、言葉の説明が補足であると分かりやすいです。一般住民が見るので、分かりやすい表示をお願いしたいです。
回答	委員ご指摘のとおり、「CMS」という言葉は一般の方には馴染みがあまりなく、言葉の説明を補足するなど、わかりやすい表現にすべきでした。今後は、わかりやすい表現を意識し、今回ご指摘いただきました管理票はもちろんのこと、その他一般の方が見るものについてはわかりやすい表現にしていきます。 なお、CMSについての説明は次のとおりです。 「各部署の担当者(全職員)のパソコンでホームページの各ページを作成することができるシステム」をCMS(コンテンツマネジメントシステム)といいます。 ホームページのリニューアルに合わせて平成29年3月1日から導入し、現在4年が経過しました。職員による操作も慣れてきて、ページの更新件数も増えています。情報発信の即時性につながっています。 例えば、新型コロナウイルスによる町民の皆様への多大なる影響などがある状況の際には、日々、情報発信を行う必要があり、実際にそのような運用を行い、各部署によるページ作成の効果が表れています。 以上のとおり、CMSの運用を行っている中で、施策である「子育て支援情報の提供」の課題の一つとして、各部署が確実にページ作成を行うように徹底していくことが必要だと考えています。
回答部署	秘書広報課 広報公聴係

ページ	1
該当箇所	基本目標1 すべての子育て家庭の支援 (1) 地域の子育て家庭の支援 ①総合的な子育て支援サービスの展開 4 民生委員等の活動支援
意見等	進捗状況がガイドブックを作成するか検討中なのは、事業所の同意が得られない為なのか。現時点での同意の状況は、どうなっているのでしょうか。
回答	ガイドブックは、新型コロナウイルスの影響で企業への協力が得られない可能性があるため、作成をするか検討をしていましたが、新型コロナウイルスの状況も落ち着いてきましたので、作成する方向にしました。現時点の企業等への同意については、町からの通知を送付してからの交渉になるので、進行していません。
回答部署	福祉課 福祉推進係

ページ	2
該当箇所	基本目標1 すべての子育て家庭の支援 (1) 地域の子育て家庭の支援 ②在宅の子育て支援サービスの拡充 3 育児支援ヘルパー事業の充実
意見等	リスクのあるなしの見極めは難しく、ゆりかごステーションとの連携が必要ではないのでしょうか。
回答	ゆりかごステーションと連携を図りながら実施しているところです。
回答部署	子育て応援課 子ども家庭支援センター係

ページ	3
該当箇所	基本目標1 すべての子育て家庭の支援 (1) 地域の子育て家庭の支援 ③親子交流事業等の拡充 2 三世代交流の推進
意見等	児童館やひばりでも、じじばばへの孫育てセミナーのような事業をやったらどうかと思いました。
回答	他市町村の児童館でも、祖父母のための孫育てセミナー等を実施していることは承知しています。各種事業の内容は、利用者の要望や過去の事業の実施状況等を勘案しながら決定しています。
回答部署	子育て応援課 児童館係
回答	他市町の取組等を調査し、参考となる事業があれば、研究していきたいと思えます。
回答部署	子育て応援課 子ども家庭支援センター係

ページ	3
該当箇所	基本目標1 すべての子育て家庭の支援 (1) 地域の子育て家庭の支援 ③親子交流事業等の拡充 3 児童館事業の拡充
意見等	移動児童館のそれぞれの場所での利用率に大きな差はあるのでしょうか？
回答	移動児童館事業は大きく分けて3つの事業があります。令和2年度の各実施場所における実施回数、参加者数及び1回当たりの参加者数の状況は、以下のとおりです。 1 幼児事業（対象：0歳児以上の乳幼児と保護者） ①武蔵野コミュニティセンター 17回、134人、7.9人 ②元狭山コミュニティセンター 18回、157人、8.7人 ③長岡コミュニティセンター 18回、218人、12.1人 2 就学児向け事業（対象：18歳未満の児童） ①武蔵野コミュニティセンター 8回、30人、3.8人 ②元狭山コミュニティセンター 9回、82人、9.1人 ③長岡コミュニティセンター 8回、34人、4.3人

	④二小 1回、23人、23.0人 ⑤三小 1回、30人、30.0人 ⑥四小 1回、13人、13.0人 ⑦五小 1回、26人、26.0人 3 期間限定事業（対象：18歳未満の児童） ①武蔵野コミュニティセンター 41回、542人、13.2人 ②元狭山コミュニティセンター 41回、422人、10.3人 ③長岡コミュニティセンター 41回、233人、5.7人 ※ 参加者数は、事業の規模（定員）等により差が出ることもあります。
回答部署	子育て応援課 児童館係

ページ	8
該当箇所	基本目標1 すべての子育て家庭の支援 (3) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進 ①仕事と家庭が両立しやすい就労環境づくりの推進 1 父親の育児への参加促進
意見等	様々な対策を行っているものの達成度が低いのはなぜでしょう？ 最近のお父さんは積極的に育児に参加している方も多いと思います。仕事等でたくさんの事業には参加できなくても、例えば子どもにご飯を食べさせたり、家事を積極的にやってくれたり、こういった事も育児参加になるのではないのでしょうか。 事業に参加しない＝育児参加できていないとは言えないと思います。
回答	児童館においては、父親が参加しやすい事業の実施や、父と子どもが一緒に遊ぶ遊具の設置等、父親の育児への参加促進を図っています。 この施策は、児童館、子ども家庭支援センター及び健康課の3つの部署が関係していますので、総合的に判断して達成度をCとしています。
回答部署	子育て応援課 児童館係
回答	父親の事業参加はありませんが、子どもを連れて、子ども家庭支援センターに遊びに来る父親や、狭山谷公園で、子どもと遊ぶ父親をよく見かけることから、育児参加に対する意識が変わってきたのだと思われます。
回答部署	子育て応援課 子ども家庭支援センター係
回答	両親学級で先輩ママ・パパを招いての交流会を実施していますが、そこで父親が家事や育児を楽しんで行っている様子が話されています。男女共同参画推進の時代背景もあり、乳児家庭全戸訪問や育児相談を通じて、育児は両親が協力して行うことが当たり前の社会になっていることがみてとれます。 一方、少数派ながら父親が育児にほとんど関わっていない家庭も見受けられます。両親学級は、専門職による講話以外にも、出産を控えた家族同士や先輩ママ・パパとの交流、さらに沐浴実習なども行っており、これから父親になる育児未経験者にも乳幼児がいる生活を具体的にイメージしやすいように工夫しています。
回答部署	健康課 保健係

ページ	10
該当箇所	基本目標2 母と子の健康づくり (1) 母と子の健康づくりの推進 ①疾病予防・健康増進事業の推進 1 乳幼児健康診査の充実
意見等	目標に対して現在の状況はどこまで出来ているのでしょうか。
回答	令和7年度までの乳幼児健診受診率の目標値は、 ・3～4か月児健診 98.0%以上 ・1歳6か月児健診 92.0%以上 ・3歳児健診 99.0%以上 としていますが、令和3年度上半期(4月～9月)の速報値では、 ・3～4か月児健診 101.6% ・1歳6か月児健診 98.7% ・3歳児健診 100.0% となっています。 健診未受診者の中には、なかなか連絡が取れない家庭もあり、その状況把握のために多くの時間をとられますが、こまめな連絡や訪問で受診を促し、受診率の向上に努めています。
回答部署	健康課 保健係

ページ	17
該当箇所	基本目標3 家庭・学校・地域の教育力の向上 (1) 子どもの生きる力を育成する学校教育環境の整備 ①豊かな心と健やかな体の育成 1 子どもからの相談体制の充実
意見等	保育園や学校に出向いて行う子どもとの面談とは、どのように行うのでしょうか。
回答	子どもが安心できる場所で面談を行っています。子どもが話した内容は、「使った言葉をそのまま聞き取る。質問をしないで聞く。何度も話をすると子ども自身の記憶が混同してしまうため、再確認は行わない。」といった点に注意しながら、面談を行っています。
回答部署	子育て応援課 子ども家庭支援センター係

ページ	17
該当箇所	基本目標3 家庭・学校・地域の教育力の向上 (1) 子どもの生きる力を育成する学校教育環境の整備 ①豊かな心と健やかな体の育成 2 教育相談等の充実
意見等	スクールカウンセラーの先生に生徒が相談している状況は、どのくらいあるのでしょうか。足りているのかいないのか。
回答	瑞穂町立小・中学校におけるスクールカウンセラーと児童・生徒の相談件数は859件(令和2年度事務報告書報告件数)、うち児童605件、生徒254件です。 瑞穂町では、スクールカウンセラーのほか、教育相談室の専任相談員を

	週2日各小・中学校に派遣しており、追加配置の要望も無いため、不足していないと考えています。
回答部署	教育指導課 指導係

ページ	18
該当箇所	基本目標3 家庭・学校・地域の教育力の向上 (1) 子どもの生きる力を育成する学校教育環境の整備 ①豊かな心と健やかな体の育成 5 豊かな体験活動の推進
意見等	コロナ禍でたくさんの事業が中止となる中、代替案を検討中とありましたが、具体的に決まっていますか？
回答	青少年委員会の実施事業として、工作体験事業を計画中です。年度末までには実施予定です。
回答部署	社会教育課 社会教育係

ページ	19
該当箇所	基本目標3 家庭・学校・地域の教育力の向上 (1) 子どもの生きる力を育成する学校教育環境の整備 ②学校教育の充実 3 不登校児童・生徒への支援
意見等	瑞穂町では、不登校児童・生徒は毎年増えているのでしょうか。
回答	子ども家庭支援センターで受理した件数は、平成29年度8件、平成30年度3件、令和元年度0件、令和2年度8件、令和3年10月末現在1件となっています。増減については、年度によって異なります。
回答部署	子育て応援課 子ども家庭支援センター係
回答	瑞穂町立小・中学校における不登校児童・生徒数は、令和元年が児童10名、生徒48名、令和2年度が児童10名、生徒32名です。令和2年度については減少していますが、長期的には緩やかに増加している傾向があります。
回答部署	教育指導課 指導係

ページ	25
該当箇所	基本目標3 家庭・学校・地域の教育力の向上 (3) 地域と協働で進める子育て支援のコミュニティづくり ①地域との連携と人材活用 1 地域における人材の育成・活用
意見等	総合人材リストについて、人材登録は増えているのに、活用実績はなしと言うことに、大変残念に思います。前にもこの件で要望を出しました。ホームページの人材登録の表示を、もう少し魅力ある宣伝チラシのような感じで、作成お願いしたいです。連絡先も載せていただくのはダメですか？ 社会教育課の方が仲介に初めなるので、連絡に時間がかかります。直接、必要な時に、お問い合わせできるようになれば、より利用しやすいのではないかと思います。

回 答	総合人材リストについては、ホームページのほかコミュニティセンター等の町有施設にポスターやパンフレットを設置し、啓発しています。 「瑞穂町総合人材リスト取り扱い要綱」で、利用希望は所管課を通して直接交渉することとされており、個人情報保護の観点からも、連絡先をホームページに掲載することは難しいと考えますが、制度啓発の掲載方法は今後も引き続き研究していきます。
回答部署	社会教育課 社会教育係

ページ	27
該当箇所	基本目標3 家庭・学校・地域の教育力の向上 (3) 地域と協働で進める子育て支援のコミュニティづくり ②世代間交流による子育て支援 3 多世代間交流事業の支援
意見等	四小ではどこを使って行うのか、ボランティアの人数は確保できたのでしょうか。
回 答	瑞穂第四小学校は、3階にある家庭科室を使用しています。今年初めて11月17日に実施することができました。 ボランティアについては、昨年、瑞穂第一小学校で実施したボランティアを含め、瑞穂第四小学校地区の民生委員・児童委員、寿クラブ、町内会などに協力してもらい、人数は確保することができました。
回答部署	福祉課 福祉推進係

ページ	28
該当箇所	基本目標4 安心して子育てができる生活環境の整備 (1) 子育てを支援するユニバーサルのまちづくり ①子育てを支援するユニバーサルのまちづくり 1 子育てにやさしいユニバーサル・デザインの推進
意見等	赤ちゃんふらっと事業は、ひばりだけでなく、児童館も入れることができないですか？授乳施設は、手作りでカーテンひいて利用できるように準備してあります。 児童館と聞くと、小学生以上の利用のイメージが強いかもかもしれませんが、赤ちゃん広場もありますし、皆さんに気軽に利用してもらえようにお知らせできたらいいと思います。
回 答	赤ちゃん・ふらっと事業は、授乳及びおむつ替え等のための施設設備の設置促進と、乳幼児を持つ親が安心して外出を楽しめる環境を整備することを目的とした東京都が実施している事業です。 現在、町には、6か所の公共施設や民間施設があります。この事業に適合するかどうかは、様々な基準がありますが、委員のご指摘のとおり、子育て支援の一環として、PRが必要であると思いますので、東京都に確認しながら設置に向けて積極的に推進していきます。
回答部署	子育て応援課 児童館係

ページ	31
該当箇所	基本目標4 安心して子育てができる生活環境の整備

	(1) 子どものための安全・安心のまちづくり ①子どもを犯罪から守るための活動の推進 2 防犯設備等の整備
意見等	Cと達成率が低い理由は何でしょうか。
回答	今年度予定している防犯灯のLED化工事が完了していないためです。 完了次第、達成度はAとなります。
回答部署	地域課 交通防犯担当